

人口・面積 (H17.3月末)	
梶崎市	32,807人 138.45km ²
郷ノ浦町	12,135人 47.31km ²
勝本町	6,839人 29.51km ²
芦辺町	8,969人 45.12km ²
石田町	4,864人 16.51km ²

地形	
広域	東西 約15km 南北 約17km
最大標高	212.9m(岳ノ辻)
周囲(農島含む)	約191km



「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、梶岐」

概要

梶崎市は、平成16年3月1日に郷ノ浦町・勝本町・芦辺町・石田町の4町が合併して誕生しました。

梶崎市は、福岡県と対馬の中間地点で玄界灘に面し、福岡県博多港から郷ノ浦港まで西北76km、佐賀県呼子港から印通寺港まで北26kmの位置にあります。

南北約17km、東西約15kmのやや南北に長い亀状の島で、総面積は138.45km²、梶岐本島と21の属島(有人島4・無人島17)からなる全国で20番目(沖縄は除く)に大きな島です。

地形は一般に丘陵性の玄武岩をなし、高度100メートルを超える山地が占める面積は極めてわずかです。分水嶺は西に偏り、谷江川は北西から南東に、幡鉾川は西から東に流れ、その流域には、本島最大の平野(深江田原)が発達しています。

海岸線は屈曲が多く、発達した海蝕岩がみられる北東部を除けば、大小の湾入があります。特に、西岸一帯は激

しく、潮谷の原型を保っており、南東岸には、大小の砂浜が点在しています。

昭和43年7月22日に、梶岐の一部地域が梶岐対馬国定公園に指定、また、昭和53年6月16日には、辰の島・手長島・妻ヶ島の3ヶ所が海中公園地区に指定されるなど自然景観にも恵まれています。

現在、梶崎市では「①産業振興で活力あふれるまちづくり、②福祉・健康づくりの充実で安心のまちづくり、③自然を生かした、環境にやさしいまちづくり、④心豊かな人が育つまちづくり、⑤国内外交流が盛んなまちづくり、⑥さまざまな人が関わり合うまちづくり」の6つの基本指針のもと、「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、梶岐」を目指し、新しいまちづくりを進めています。

気象

対馬暖流の影響を受け、概ね温暖な海洋性気候です。県本土の長崎市・佐世保市と比較すると、年間を通して1〜2度低く、同緯度の福岡県北部と比較すると、夏季は涼しく、冬季はやや温暖で、降雪や積雪もまれです。

降水量は、6・7月の梅雨期と9月の台風、秋雨時期に多く、県本土よりはや少ない傾向にあります。